

令和3年度 岐阜市立女子短期大学あり方懇談会における 4年制化に関する主な意見

【4年制化】

- ・4年制化が実現した場合、短期大学志望の生徒はどうしたら良いのか迷う生徒も一定数いると思う。
- ・新たな公立の4年制大学を増やすことは、周辺の私立大学に与える影響もかなり大きく、国内の出生数は減る中で大学は増えている現状を考えると、地域全体として議論しなければ難しいと思う。
- ・4年制化と共学化は一緒に考えていくべきと思う。文学系、社会科学系を志望する男子生徒の需要は一定数あると思うので、岐女短の4年制化は大いに考えていくべきと思う。

【4年制化・共学化】(第2回参考資料から再掲)

- ・何のために4年制化、共学化するか、岐阜市立の大学をどうするか考えることが大前提。
- ・岐阜市立大学としての改革は意義や意味が重要であり、まずは短大の基盤となる地域に残る女性の就職先や人の交流を固めるために大学が核となるのか、あるいは今後、女性の方々にもっと活躍してもらえるような人材育成をしたいのか、地域の特に岐阜に残るような学生を育成するために、男子学生も交えた地域連携の教育をしたいのかなど、大きな目途がないと4年制化か共学化がよいのか分からないと思う。
- ・4年制化は共学化ありきで考えいくべきと思う。現状の学科特性では難しいと思うし、リカレント教育や地域特性に合った学校、シンクタンクとしての機能も含め運営していくべきと思う。